横浜市立上矢部小学校　学校だより　　令和６年１月３１日

やまゆり　２月

学校教育目標　**大地に根をはり　共に伸びよう　天までとどけ**

☆欠席連絡は、連絡帳かマチコミメール（朝 8:00 まで）、それ以降は電話でお願いします　☆朝学校に着くのは、8:10～8:20 までの間です
☆登下校は決められた通学路以外使いません　☆帰宅後の外出は５時までです　☆放課後の学校への電話連絡は 17：45 までにお願いします

美しい阿久和川とともに

副校長　田宮真樹

毎月、第4日曜日の9時から行われている阿久和川美化活動。本校児童や保護者、地域住民、近隣施設・企業などが参加している地域行事です。

阿久和川美化活動は、さかのぼること23年前、平成13年に阿久和川に行った本校の3年生がごみの多さに驚き、自分たちを「AQUA 隊」と名付けてごみ拾いをし、大人たちにも参加を呼びかけたのが始まりです。当時の上矢部地区では、「川に親しむまちづくり」をテーマの1つとして掲げており、上矢部小学校と一緒に阿久和川の美化活動をすることになりました。こうして「上矢部まちづくりの会（現　上矢部水辺愛護会）」が誕生しました。現在でも4年生は学習の一環で、美化活動に参加させていただいています。

私が初めて美化活動に参加する際、当時の代表の二宮さんに、「汚れてもよい服装と長靴で参加しますね。」と伝えたところ、「普段の格好で大丈夫ですよ。時間も30分位で終わりますから。」と言われ、少し信じられませんでした。

美化活動当日、本当に驚きました。何せごみが落ちていないのです。参加したからには、しっかりとごみを拾わなければと、必死になって飴の袋やレジ袋の切れ端、煙草の吸殻を探し出したのを覚えています。聞けば平成13年のスタート時には、大きなごみ袋6つ分もごみがあったそうですが、現在ではごみ袋の半分程度になっています。毎月100～150人が参加してごみ袋半分ですから、ごみがなかなか見つからないのも当然です。

阿久和川美化活動は、もちろん川をきれいにすることが目的ですが、それだけが目的ではないことに、すぐ気づきました。美化活動を通して、地域住民同士、大人と子ども、学校と地域や保護者などのつながりを作り、深めることも大きな目的になっていると思います。

20年以上続く美化活動は、上矢部地区に多くのつながりを生んでいます。上矢部小のつながりでは、以前、上矢部小の職員として子どもと一緒に美化活動に参加した方々が、今は水辺愛護会の一員となって活躍されていたり、本校の特別支援教育支援員として子どもをサポートしていただいたりしています。また、昨年度PTA役員をされた方が水辺愛護会に入り、保護者の視点で運営に参加しています。

美しい阿久和川とともに成長してきた上矢部の子どもたち。これからも阿久和川と上矢部のまちを大切にしていってほしいと思います。そして、拙文をお読みいただいた上矢部の皆様、今後も阿久和川美化活動にご参加いただければ幸いです。